

かさま 社協だより

No.59



編集・発行 2026.4.16

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp

笠間市社協



8面に記事

青葉町ほっこりサロン

撮影 畠山

もくじ

- 1 令和8年度 社協事業計画および予算 2
- 2 『社協』を知っていますか?その⑱ (日常生活自立支援事業)・茨城県社会福祉大会 3
- 3 令和7年度地域づくり合同集会 4~5
- 4 ボランティアセンターだより 6~7
- 5 青葉町ほっこりサロン・生活支援体制整備事業 活動報告・ちょっといい話 8
- 6 善意銀行・寄付者紹介 9
- 7 インフォメーション・心配ごと相談所開設日程表・編集後記 10



この広報誌は赤い羽根共同募金の配分金を受けています。

令和8年度

社協事業計画および予算

本会は基本理念である「誰もが安心して暮らせる地域社会」「みんなで作る福祉のまち」の実現を目指し、地域福祉を推進する中核的団体としての役割を果たしてまいります。住民、自治会、民生委員・児童委員、関係機関・団体との連携・協働を一層強化し、地域生活課題の早期発見と解

決に取り組めます。あわせて、持続可能で安定した地域福祉活動の推進に向け、各種事業の充実と効果的な展開を図るとともに、社協が合併して20周年の節目を迎え、更なる法人運営の基盤強化及び職員の資質向上に努め、信頼される組織運営を推進します。

1 法人運営事業

- ① 理事会・評議員会の開催及び監査の実施
- ② 正副会長会議の開催
- ③ 部会、委員会等の開催
- ④ 社協会員（法人・特別一般）の加入推進
- ⑤ 善意銀行事業の推進
- ⑥ 連絡調整及び支援協力の充実
- ⑦ 各種会議、研修会の実施及び参加
- ⑧ 指定管理業務等の適正管理
- ⑨ 事務局体制の充実・強化
- ⑩ 福祉人材育成（新たな人材の発掘）
- ⑪ 社会福祉大会の開催（隔年）

2 地域福祉推進事業

- ① 小地域福祉活動の推進
- ② 福祉教育の推進
- ③ 子育て応援事業
- ④ ボランティアセンターの運営
- ⑤ 配食サービス事業
- ⑥ 広報啓発活動の推進
- ⑦ 相談事業（心配ごと相談・法律相談）
- ⑧ 法人後見受任事業
- ⑨ 資金等貸付事業（生活福祉資金貸付事業・特例貸付プログラムアップ支援）

3 受託事業

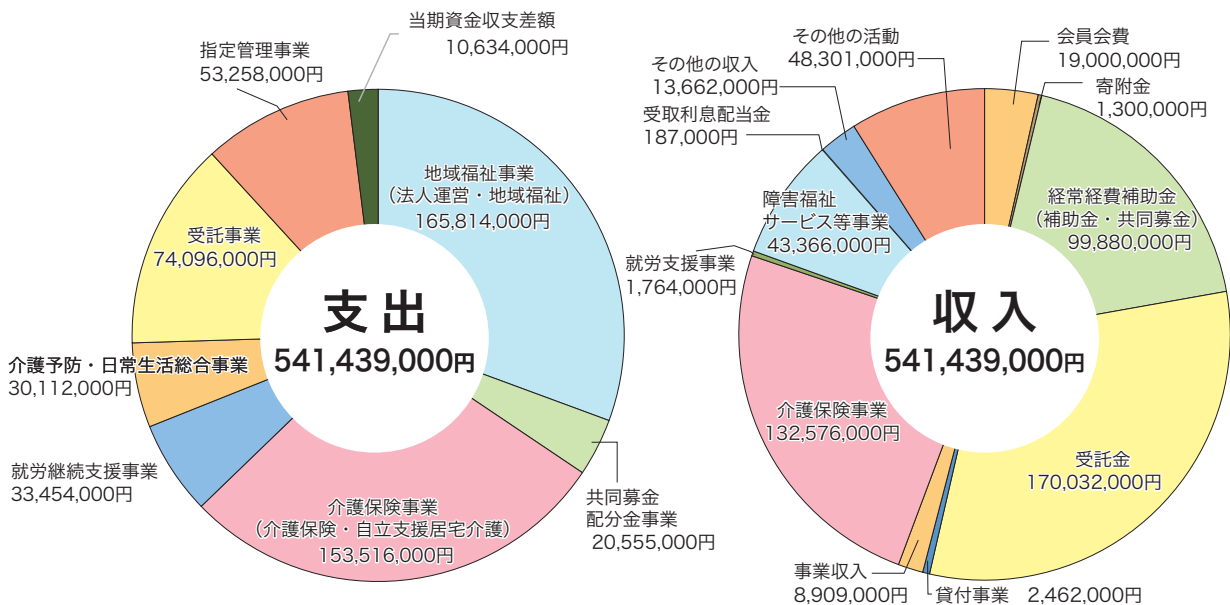
- ① 小口資金貸付事業
- ② 介護予防・生活支援サービス事業（いきいき通所事業・ふれあいサポート事業）
- ③ 就労継続支援B型事業
- ④ 特定相談支援事業
- ⑤ ひきこもりサポート事業
- ⑥ 福祉用具の貸出
- ⑦ 福祉バスの管理・運営
- ⑧ 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい配分事業の実施
- ⑨ フードバンク活動

4 介護保険事業、障害福祉サービス事業

- ① 居宅介護支援事業
- ② 訪問介護事業
- ③ 自立支援居宅介護事業

- ① かさま安心サポート事業
- ② 地域包括支援センター窓口（ランチ）業務
- ③ 在宅福祉サービスセンター事業
- ④ 日常生活自立支援事業
- ⑤ 生活困窮者自立相談支援事業・家計改善支援事業
- ⑥ 手話奉仕員養成研修事業
- ⑦ 生活支援体制整備事業
- ⑧ 移動支援事業

資金収支予算



『社協』を知っていますか？ 日常生活自立支援事業

その18

どんなサービス？

- ① 福祉サービスを利用するためのお手伝い
- ② ふだん使うお金の出し入れや支払いについてのお手伝い
- ③ 大切な書類のお預かり

誰でも利用できるの？

高齢や障がいにより判断力が低下し、福祉サービスの利用手続きについてひとりでおこなうには不安のある方、お金の管理がひとりではむずかしい方が利用できます。
例えば認知症・知的障がい、精神障がいのある方など。

利用料金はかかるの？

- ① 福祉サービスを利用するためのお手伝いやお金の出し入れ等
(1時間あたり1500円)
- ② 大切な書類の預かり
(1カ月あたり500円)

誰がお手伝い？

社会福祉協議会の専門員や生活支援員が定期的に訪問しお手伝いします。

相談の流れ

まずは相談してください
本人以外でも、家族などを通じての問い合わせにも対応いたします。

担当者(専門員)が伺います
専門的な知識を持った専門員が自宅や施設、病院などを訪問し、相談に応じます。

お困りのことを一緒に考え、支援計画を作ります
困っていることや希望をお聞きして、どのようなお手伝いをどれくらいの頻度で行うかなどをご本人と一緒に考えます。契約内容・支援計画を提案します。

利用契約を結びます
契約内容に間違いがなければ、利用契約を結びます。

サービスが開始されます
支援計画にそって、担当職員がサービスを提供します。

相談先 笠間市社会福祉協議会
生活支援グループ
電話番号 0296(77)0730

第75回茨城県社会福祉大会

市内のボランティア5団体と個人39人が表彰されました

1月20日(火)、ザ・ヒロサワシティ会館で第75回茨城県社会福祉大会が開催されました。

式典では県内1380の個人・団体の顕彰が行われました。

本市の関係者を紹介します。

茨城県知事表彰

民生委員・児童委員

塩田 計子 未栖川悦子
若菜きぬ子 伊橋 理代
成田 恵子

社会福祉施設職員

軽費老人ホームケアハウスかさま
松岡 淳子

通所介護センターグリーンハウスともべ
大津 定子

特別養護老人ホームかさまグリーンハウス
森田 理恵

笠間市くるす保育所
深谷 郁代

社会福祉事業功労者

山桜会
きんもくの会

共同募金運動奉仕者

ガールスカウト茨城県第30団
笠間市更生保護女性会

茨城県社会福祉協議会会長表彰

民生委員・児童委員

藺部 治 藤枝 哲夫
仲田 耕益 長堀久美子
須藤 甲治 大嶋 悦子
湊 三津子 近藤 純子
高野 康司 齋藤 清
長谷川道夫 山本 通子
柳原 優子 塙 幹雄
久保田陽子

社会福祉施設職員

笠間市くるす保育所
菅野美由紀
大沢保育園
中根 樹里 軽部 理沙
みか保育園
高木真由美 富田 静花
柴田 佳奈 小林ゆかり

法人本部兼ケアハウスかさま
杉山 義典

指定居宅介護支援センター
かさまグリーンハウス
斉藤 敦子

ボランティア

メレンダ

心配ごと相談員

仲村 春美
畠山 好文
平澤 浩子
久保田陽子

ホームヘルパー

笠間市社会福祉協議会
成田千恵子
根岸 直子
加倉井ゆきえ
(順不同・敬称略)



3月14日(土) 友部公民館で、支部地区社協活動研究集会・生活支援体制整備事業研修が開催されました。初めに笠間地区「友びきの会」・友部地区「社協中央支部」・岩間地区「女子会なごみ」の活動報告があり、その後、「孤独にならないための地域社会で健康に暮らす方法」と題して、茨城県立こころの医療センター副院長 太刀川弘和様・同医師 小川貴史様による講演がありました。



づくり合同集会

研究集会・生活支援体制整備事業研修

講演「孤独にならないための地域社会で健康に暮らす方法」

講師 茨城県立こころの医療センター 太刀川 弘和様 小川 貴史様



筑波大学災害・地域精神医学教授/茨城県立こころの医療センター副院長



筑波大学附属病院精神科経科病院講師/茨城県立こころの医療センター医師

で実施しているe-BOCHI(ひとりぼっちでも前向きな笠間市内中学校)

太刀川先生のおはなし
 ① どうして起こるか
 社会的孤立と孤独の違いや孤独感に関する要因・孤独感をもたらし問題が脳の機能(社会認知)である。孤独は一人が悪いと思うと起こる。
 ② 健康に悪いのか
 一時的孤独者・慢性的孤独者は死亡率が高い。冠動脈疾患と脳卒中のリスクが高い。免疫機能の低下、認知機能を悪化させる。孤独・孤立は健康に悪い。
 ③ つらくなった時には
 孤立状態・うつ状態は、援助要請しないと悪化する。孤立・孤独でつらい時には助け合う。
 ④ 健康に暮らすには

考え方ができ、いざとなったら助けを求められる教育)の普及・拡大を目指す。健康に暮らすには自分を大切に、楽しみをみつけて、周りの人と適度につながることが必要。

小川先生のおはなし
 ひきこもりに対する支援
 ひきこもりやその家族の特徴として、本人は、うつを抱えていたり、傷つきやすく干渉されることを嫌がるなどの傾向がある。家族は高いストレスを抱えており、本人への対応に自信を失っている。

ひきこもり状態にある本人へ伝えるべきことは、自己否定を和らげる、尊厳を傷つけない環境に身を置く、家族以外の人間関係を持つ・医療機関への相談などの内容を、手紙・部屋の前の会話などでうまく伝えることが重要。

最後に
 ・ひきこもり支援ハンドブック(厚生労働省よりダウンロード可)を利用するとよい
 ・ひきこもり支援の中でアウトリーチ(訪問支援)が必要
 ・支援が途切れないようひきこもり支援センターを中心に多機関が連携しておくことが重要

・家族支援の意義を理解するために家族会やプログラムへの参加を推奨してほしい
 とのことでした。

(高野)

協議体



誰もが気軽に参加できる地域づくりをめざして

友びきの会(旧箱田小学校園域) 大月 弘之

友びきの会は令和4年11月22日に発足し、地域課題があれば、そのことについて話し合ったりしながら自分たちのできることを考えていきます。必ず何かをやらなくてはいけないというわけでもありませんし、会議ではないので気軽に誰もが参加できます。地域の情報を共有して人との繋がりを重視しています。その話し合い

のなかで、地域にはたくさん資源(歴史・文化)がありますが接する機会がありません。知られていないことに気づき、資源の「見える化」することとしました。その方法として「箱田・片庭・大郷戸名所めぐりハイキング」を行いました。めぐった名所は、木村武山の「大



楞厳寺

日堂」、笠間氏菩提寺の「楞厳(りょうごん)寺」、日本一の「達磨大師」笠間の民話に登場する「滝野不動堂、七つ井戸」などです。友びきの会は、このように地域の方々が参加でき、つながる場づくりの活動をしています。
 今後に向けて進めていくこととして、現在ステップ1として交流(参加・つながり)を重視して活動していきますが、今後はステップ2として見守り(気づき・発見)。更には、ステップ3として(生活支援)に向けて進めていきたいと考えております。



合同集会



- 各種研修会などの開催
 - ・救命／防災／健康づくり
 - ・支部委員等視察研修・女性部視察研修
 - ・配食調理研修会(年2回)
- (月1回、第3金曜日)
- 配食サービス
- (グラウンドゴルフ／輪投げ)
- 高齢者親善交流会(手打ちそば会食会)
- ・しあわせサロン散策
- ・しあわせサロン会食会
- 高年齢福祉活動の推進

支部



地域に根ざした活動の取り組み

社協中央支部長 栗股 克巳

中央支部は、昭和54年に設立され、本年度で47年を迎えました。平成7年には、婦人部(現女性部)が結成され、支部活動で大きな力となっており、友部駅南から友部小学校にかけての21区があり、世帯数1689世帯で組織されており、役員構成は、支部役員10人(女性役員含む)、支部委員21人、福祉推進員98人、他

主な活動の取り組み



- 広報活動の推進
 - ・年3回の広報誌の発行
 - ふるさとまつりinかさまへの参加
 - ・福祉バザーの開催
 - 今後の課題
 - 地域の交流会への支援
 - 活動内容の充実
 - 地域人材の活用
 - 広報活動の推進
- 地区により、新しい居住者が増えているところもあり、支部活動の取り組みなどについて周知を図り、理解を得ていく必要があるかと思えます。今後も地域の皆様のご支援やご協力を得ながら、『地域に根ざした活動』に取り組んでまいります。

サロン



たのしく、みんなで、なごやかに

日吉町東区女子会なごみ

- 「健康状態」の把握など目的を多様化して活動しています。
- サロン運営
 - 開催日時 毎月第二月曜日
 - 第四月曜日 月2回開催
 - 午前10時～午後1時
 - 開催場所 日吉町東区公民館
 - 運営 代表1名 会計1名
 - 書記1名 協力者2名
- 活動内容は参加者全員で考える。準備は運営委員が行う。
- 開催は年間計画表を配布。

日吉町東区女子会なごみの発足について。地区の高齢化が進み行事など簡素化され、住民同士の付き合いが希薄になり、そこで仕事や子育てから解放された女性達が「交流の場」の必要性を感じ立ち上げる事にしました。



- ・発足して10年、会員の皆さんも年齢を重ね、楽しいサロンを柱に「孤立・孤独」の対策、「健康状態」の把握など目的を多様化して活動しています。
 - ・「女子会なごみ」を改名し男性も参加できるサロンへ
 - ・参加出来なくなった方へのサポートをどうするか
 - ・郊外活動への移動手段がない
 - ・刺激と好奇心のあるサロンを継続するには
- 参加費 新規会員は500円
昼食会 一部自己負担あり
- 企画内容
お花見／郊外散策／輪投げ／ポッチャ／料理教室／ゴキブリ団子作り／干支の置物作り／出前講座／笑いヨガ／シルバリーハビリ体操

センターだより

く り を 目 指 し て

子育てママ・パパの応援講座では、入園・入学に向けて「手提げ袋」「シューズ袋」を作成しました。出来上がった作品を満足そうに眺めるママの顔がとても素敵でした。

「食事作りボランティア講座」では、季節の食材を使った料理を中心に、味付けの工夫・アレンジの仕方などを教えて頂きました。

「笑育講座」では、「大福づくり」と「のり巻き作り」を体験。託児付きなので安心して参加できました。

「託児ボランティア講座」では、応急手当の方法や乳幼児との関わり方について実演を交えて教えて頂きました。

「笠間市ボラ連」の交流会が開催されました。友部・笠間支部では「映画鑑賞会」を、岩間支部では「サークル対抗ポッチャ大会」を行いました。

2/20 3/6 子育てママ・パパの応援講座



講師は裁縫のベテランボランティア6人。
裁縫を通して、参加者ママとボランティアが、和気あいあいと交流できました。



アイロンをかけて仕上げ



ボランティアとマンツーマンでミシンかけ




布えらび

赤い羽根共同募金 福祉川柳 2-1

たまこーひー心を繋ぐ看板娘
地域でねいろんなごみのごみ拾い
皆元氣サロンに集う良き仲間
夏休み孫と戯れ笑みこぼれ
有難き福祉あつての天と地で
今日も又いつものようにほーっと過ぐす一日か
ありがとつたのしい通所で白寿まで
長年の友の不機嫌この酷暑
グイ飲みにもずく酔入れて夫(つま)憶ふ

- 篠田 聡子
- 大山 らら
- 青木 篤子
- 市川 芳一
- 下川 美恵子
- 川崎 重康
- 長谷川ツギ子
- 成田 文子
- 中村 かをる

 赤い羽根共同募金

11/26 12/17

学校法人大成学園いなだこども園・かさまこども園・ともべ保育園の看護師・保育教諭・保育士の先生方のご協力により、託児ボランティア講座を笠間市社協で初めて開催しました。第1回目は応急手当を含めた講義、第2回目は乳幼児との関わり方について実演を交えて実施。年齢別に応じた配慮や実際の遊び方まで幅広く学ぶことができました。



赤い羽根共同募金 託児ボランティア講座 8人参加



皆さん子どもと一緒に参加し、子どもは託児ボランティアに預け、お母さんは安心して大福づくりに集中できました。お母さん同士、子ども同士で楽しく交流できました。



市内子ども食堂の皆さんと鮎「松榮」さんの指導で、鮮やかな巻寿司づくりを楽しみました。

2/18

「笑育講座」
「大福作り」 4人参加

3/12

「のり巻きづくり」
8人参加

子育て中の皆さんが地域の方々と
関わりコミュニケーションの輪を広げます。



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

ボランティア

住みよいまちづ



赤い羽根
共同募金

1/21

映画鑑賞会

「104歳、哲代さんのひとり暮らし」

友部公民館 218人参加



1/29

友部地区

笠間市ボランティア連絡協議会交流会

令和7年度

各地区ごとに組織されたボランティアで仲間づくりや交流を深めています。

1/28

食事作り講座

食事作り活動をしていただけるボランティアを増やすことを目的として講座を開催しました。指導者として笠間市ヘルスリーダーの会の皆様にご協力をいただき、季節の食材を使った料理を中心に、味付けの工夫やアレンジの仕方などを教えてもらいました。

参加者の感想

- ・高齢者の味付けを知ることができた。
- ・美味しい食事の献立を教えていただき、家庭の食事作りに役立てたい。
- ・油を使わず、塩分を控えた料理のコツを教えてください。
- ・薬膳やマクロビ等の健康にも良い食事を習いたい。



2/25

笠間地区

映画鑑賞会

「お終活 熟春！人生、百年時代の過ごし方」

笠間公民館 200人参加



3/28

岩間地区

サークル対抗ポッチャ大会

地域福祉センターいわま 68人参加



配達ボランティア

お弁当を配達する

随時募集中

いわま 月曜日
(0299-45-7889)

ともべ 火・土曜日
(0296-77-0730)

かさま 金曜日
(0296-73-0084)

お気軽に
お問合せください。

調理ボランティア

75歳以上のひとり暮らしの方への
お弁当を調理する

各種講座予定

令和8年度

手話奉仕員養成講座(基礎課程)

R7年度受講者対象

4月から(年21回)

傾聴ボランティア養成講座

R7年度受講者対象

4月・5月

読み聞かせ講座(フォロアップ)

R7年度受講者対象

5月から(年10回)

笑育講座

4講座(年4回)

第一火曜日の会

6月・9月

大人のわくわく体験

6月他

夏休みわくわく体験教室

7月下旬から8月上旬

食事づくり講座

9月・10月

子育てママ・パパの応援講座

2月・3月

※詳しくは「広報かさま お知らせ版」をご覧ください。内容が変更になる場合があります。

ふれあいサロンの紹介

青葉町ほっこりサロン

代表 持丸 すい

令和7年10月、「青葉町ほっこりサロン」がスタートしました。

「みんなで集まっておしゃべりがしたいよね」の声に押され、社協の協力を得て、3回ほど話し合いを持ち、立ち上げたものです。サロン名はいくつかの候補の中から賛同の多かったものになりました。地域の方には回覧でお知らせしました。



初回には13人が集まってく

れました。

これからどんなことがしたいのかを話し合い、健康体操、合唱、おしゃべりを中心に据えることにしました。時節の遊びやゲームも盛り込むことにしました。



ちなみに1月は、お正月気分だとノナルの日本酒で乾杯、座ったままできる健康体操、かるた取りをした後、あったかいお茶を飲みながらのおしゃべりタイムとなりました。男性陣が「お正月だから」と、お茶を入れてくれて、和気あいあいのうちにお開きとなりました。

サロンは、毎月最終火曜日、午後1時半から3時半、まちかどギャラリーで開催しています。会費は300円ですが、もっと安くできないかを検討中です。

生活支援体制整備事業 活動報告

支え合いの第一歩

現在8か所が活動中

生活支援体制整備事業は、自分たちの住み慣れた地域でいつまでもいきいきと暮らしていくために、地域のつながりづくりや支え合う仕組みづくりをする事業です。

令和7年度は新たに北川根小学校圏域とみなみ学園圏域の2つの話し合いの場（協議体）が加わりました。本号では新たに始まった2つの話し合いの場の様子を紹介していきます。

第1回目
は、まず事務局から生活支援体制整備事業の内容と、なぜ地域の話し合いの場が必要なのかを説明しました。



北川根小学校圏域



みなみ学園圏域

続いて、話し合いの勉強会として、笠間の森カウンセリンググループ代表・永原伸彦先生からの講義を聴き、実技を行いました。参加者の皆さんは、最初は緊張した様子でしたが、次第に表情がほころび、和やかな雰囲気広がりました。

今後もこの雰囲気を持って3か月に1度のペースで開催し、自分たちの地域について話し合っていきます。

ご興味のある方は社協までぜひご連絡ください。

ちよっといい話

人は誰しも、最期は一人です。その時を迎えます。そう考えると、ふと「人は一人で生きていく」と感じるころがあるでしょう。けれど、本当に私たちはそうして生きているのでしょうか。

朝の通学路を見守る人。いつもの店の明かり。交わされる何気ないあいさつ。気づかなくとも、私たちは多くの支えを受け、当たり前の日々を過ごしています。

地域の支え合いは、制度だけに頼るものではなく、日常の中の関わりでこそ成り立ちます。きっとあなたも、誰かの支えを、別の誰かにそっと返しています。小さな思いやりが、次の安心へとつながっていきます。

最期は一人でも、決して孤独ではありません。見えない支えを受け取り、返して・繋がり・遺す。それが、これからの地域をやさしく支える、生活支援体制整備事業の根幹なのです。

(入江)



善意の寄附を「ありがとう!!!」

(善意銀行預託)



令和7年11月1日～令和8年2月28日まで (順不同・敬称略)

物 品

エコキャップ・使用済み切手・
食品・日用品など



石崎武男
 武田佳子
 玉井秀幸
 持丸一幸
 不動院
 旭化成メタルズ(株)
 イチカワユニオン岩間支部
 (有)伊藤石材工業
 入やなわぁ工房
 岡本興業(株)
 (有)笠間給食センター従業員一同
 (株)石井鉄工所
 (株)鉾田製材所
 鴻池運輸(株)
 J A常陸笠間地区女性部
 (有)菅谷葬儀社
 仙波建設(株)
 泰榮電器(株)
 友部自動車学校
 (株)藤坂茨城営業所
 (株)本間商事
 水戸ヤクルト販売(株)
 明治安田生命笠間営業所

森田屋入江勇太
 茨城県立 I T 未来高等学校
 笠間高等学校 J R C 部
 稲田小学校
 岩間第一小学校
 笠間小学校
 N P O 法人がくどうともべ
 稲田小児童クラブ
 岩間第一小児童クラブ
 友部小児童クラブ
 みなみ学園児童クラブ
 岩間保育園
 大沢保育園
 くるす保育所
 すみれこども園
 ひまわり保育園
 みか保育園
 大成学園ともべ保育園
 大成学園いなだこども園
 大成学園かさまこども園
 岩間第一幼稚園
 さくら幼稚園
 ともべ幼稚園
 ドレミ幼稚園
 いきいきステップ下市毛
 上郷産こしひかり
 更生保護女性会笠間支部

更生保護女性会友部支部
 社会福祉協議会北川根支部
 土師地区社会福祉協議会
 日吉町区
 県立中央病院(施設課・消毒室・リネン室)
 (福)木犀会ひまわり館
 (福)木犀会さくら
 岩間郵便局
 中央労働金庫友部支店
 匿名(4件)

金 銭

持丸直也	500,000円
ボランティア連絡協議会友部支部	20,000円
バザー夢工房	50,000円
松居孝	50,000円
友援の会	10,000円
(有)笠間給食センター従業員一同	6,934円
(有)三共金属工業所	300,000円
「財日本さくらの会」友部さくらの会	24,255円
友部ロータリークラブ	28,024円
八幡台二区第一班	30,051円
南山野球協会有志会	5,895円
匿名(9件)	110,520円

1個人、1団体、2社から寄贈いただきました。ありがとうございました。



バザー夢工房様より寄附金



持丸直也様より寄附金



水戸ヤクルト販売(株)様より
ポータブル電源と電源用ソーラーパネル



(有)三共金属工業所様より寄附金

小学生 高学年の部



～想いを届ける赤い羽根～
笠間小学校6年 太田 彩葉



～ハートいっぱい！おもしろ、とどけ！～
笠間小学校1年 太田 桜詩

小学生 低学年の部



市内の小・中学生から応募があった106作品の中から優秀作品としてこちらの作品が選ばれました。おめでとーございませう。優秀作品は、令和8年度赤い羽根共同募金運動の啓発用ポスターとして活用させていただきます。

赤い羽根共同募金ポスター優秀作品のご紹介



中学生の部

～みんなで募金に協力しよう。～
岩間中学校3年 茂木 優里菜



小学生 中学年の部

～やさしさでつながる町～
友部小学校3年 佐藤 琴音

訪問入浴介護事業所閉鎖のお知らせ

令和8年3月31日をもって、訪問入浴介護事業所を閉鎖させていただくこととなりました。長きにわたり、皆様からの温かいご支援とご愛顧を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

春の訪れとともに、いよいよ新しい年度がスタートしました。春は環境が変わり、期待とともに不安を感じることも少なくない季節です。そんな時こそ、あいさつや声かけなど、身近な人とのつながりが心強く感じられます。社協だよりは、広報委員が取材や話し合いを重ねながら、地域の活動や皆さんの声をお届けしています。今年度も、地域の支え合いの輪が広がるきっかけになるよう、読みやすい身近な広報誌づくりに取り組みます。

(藤枝)

編集後記

心配ごと相談所日程表

日常の困りごとなど何でもご相談ください(無料・秘密保持)
時間：13:00～16:00 (受付は15:30までをお願いします)

	社協笠間支所 [第2・4火曜日] TEL 0296-73-0084	地域福祉センターともべ [第2・4水曜日] TEL 0296-77-0730	地域福祉センターいわま [第1・3木曜日] TEL 0299-45-7889
5月	12日・26日	13日・27日	7日・21日
6月	9日・23日	10日・24日	4日・18日
7月	14日・28日	8日・22日	2日・16日
8月	25日	12日・26日	6日・20日

※その他、法律相談もあります。事前に心配ごと相談へご相談ください。



SNSのご紹介



(旧ツイッター)

